



報道関係者各位

2023年10月11日
神奈川県綾瀬市
株式会社マーケットエンタープライズ

10月は3R推進月間 綾瀬市が不要品リユース事業で 「おいくら」と連携

～リユースの更なる促進により廃棄物削減へ～

神奈川県綾瀬市(市長:古塩 政由)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2023年10月11日(水)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、綾瀬市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

綾瀬市では、毎年10月の「3R推進月間」に実施するリユースの啓発活動や、粗大ごみや無償物として回収された家具・食器などの中から使用可能なものを販売する「ツカエルフェア」など、リユースを重要課題と捉え、精力的に取り組んできました。しかしながら、日頃から実践できるリユースの具体策を市民に案内することは難しく、「まだ使えるから廃棄ではなくリユースしよう」という市民の意識醸成を図れず、苦戦しておりました。加えて、綾瀬市・海老名市・座間市で運営し、3市のごみを搬入しているごみ焼却施設には、現在、想定受け入れ量を超える量が集まっており、ごみの減量化につながる新施策の導入は急務と捉えておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開しております。

これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。そうした中でマーケットエンタープライズが働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現しました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 110 万人(2022 年 11 月現在)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■綾瀬市の課題と「おいくら」による解決策

綾瀬市では、粗大ごみを市民が自ら自宅の外へ運び出す必要がありますが、自力での搬出が厳しい場合には、近所の人へ協力を依頼するか、シルバー人材センターへの依頼を案内していました。しかしながら、非常に大きな家具などは、シルバー人材センターでも搬出できないものが増えてきたため、「市で運び出しをして欲しい」などの声が寄せられ、大型や重量のある不要品の搬出策について議論が交わされていました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、まだ利用できるものであれば、冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も対象で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、綾瀬市の費用負担もありません。

■今後について

10 月 11 日(水)15 時(公開時間が前後する可能性があります)より、綾瀬市ホームページ内(https://www.city.ayase.kanagawa.jp/soshiki/recycleplaza/gomi_kankyo/3/4/998.html)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。綾瀬市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や、社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■神奈川県綾瀬市

綾瀬市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、横浜へは約 20 km、東京中心部へは約 40 kmの首都圏域にあります。西に大山・丹沢連峰を望むとともに、遠く富士の秀峰を仰ぎ、カワセミやアユ、ホタルが見られ、都心部からさほど離れていない土地でありながら、市の中心部には広大な畑が広がる自然豊かなまちです。また、高い技術力やノウハウを持つ製造業事業所が集積する「ものづくりのまち」であるとともに、最近では映画やドラマなどの舞台として脚光を浴びています。農業も盛んで、収穫後 6 時間以内に店頭と並ぶ神奈川県ブランドに登録された「菜速あやせコーン」や、「菜速」野菜として知られるレタスの鮮度や品質が評価され、市内外からの注目が集まっています。2021 年 3 月 31 日には、新たな玄関口「綾瀬スマートインターチェンジ」が開通し、にぎわいのある地域経済の活性化に向けて取り組んでいます。 【あやせタウンガイドより抜粋】

人口：83,013 人(男 41,902 人、女 41,111 人) (2023 年 9 月 1 日現在)

世帯数：35,558 世帯(2023 年 9 月 1 日現在)

面積：22.14 平方キロメートル

ウェブサイト：<https://www.city.ayase.kanagawa.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006 年の設立以来、成長を続けています。2015 年 6 月には東証マザーズに上場。2021 年 2 月に東証一部へ市場変更の後、2022 年 4 月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80 か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ 710 万人を達成しました。綾瀬市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で 68 にのぼります。

「おいくら」自治体向けウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

綾瀬市に関すること

綾瀬市役所 市民環境部 リサイクルプラザ

資源循環担当：藤嶋

Tel: 0467-70-5667 Mail: wm.705667@city.ayase.kanagawa.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR 担当：立花

Tel: 03-6675-3923 Mail: pr@marketenterprise.co.jp